

平成16年1月19日

各 位

会 社 名 マルカキカイ株式会社  
代表者名 取締役社長 釜江 信次  
(コード 7594 大証第二部)  
問合せ先 取締役管理本部長 森 康明  
(TEL 072-625-6551)

### 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、このたび2004年11月期から2006年11月期までの中期経営計画を以下のとおり策定しましたのでお知らせいたします。

#### 1. 経営の目標と中期経営ビジョン

##### 1) 経営の目標

グル-プト-タルでの「収益力の強化」を図る。

資産効率性の向上を図り、ROA(総資本経常利益率)を2006年11月期に5.0%にする。

##### 2) 中期経営ビジョン

日本のメ-カ-の海外、中でも東南アジア、中国への進出が加速しており、それらの市場で生まれる新たなニ-ズをビジネスチャンスと捉える。

世界の物づくりに貢献する。

事業拡大、海外戦略のパートナーとしてネットワークを生かした営業を展開する。顧客の物づくりに貢献するシステムを提案する。

ますます多様化するユーザーニーズに対応するために提案型のコンサルティング営業を展開する。

#### 2. 連結及び単独の経営数値目標(単位:百万円)

(部門別営業利益と決算上の営業利益との差異は主に親会社管理部門に係る費用分)

決 算		2003年11月期	2006年11月期	部門別	2003年11月期	2006年11月期
連	売上高	26,145	36,000	産業機械売上	21,446	30,464
	営業利益	585	1,200	同営業利益	1,256	1,820
	経常利益	590	1,250	建設機械売上	4,588	5,500
結	当期純利益	354	650	同営業利益	178	250
	ROA(%)	2.9	5.0	その他売上	110	36

決 算		2003年11月期	2006年11月期	部門別売上	2003年11月期	2006年11月期
単 独	売上高	20,219	28,000	産業機械	16,247	23,464
	営業利益	405	800			
	経常利益	438	880	建設機械	3,954	4,500
	当期純利益	220	450			
	ROA(%)	2.5	4.5	その他	18	36

### 3. 中期基本戦略

中期業績計画達成のための戦略といたしまして、以下の4点に注力し、収益の拡大を図ってまいります。

アジア取引の拡大

アメリカ市場における既存商品のシェアアップ、新規商品の投入と日系企業の開拓

建設機械部門において国内販売、輸出、レンタルの連携強化による独自性を発揮した営業の展開

国内と海外拠点相互の情報の飛躍的な増加

### 4. 事業別・市場別戦略と施策

#### 1) 産業機械部門

【数値目標】～ 連結ベース

売上高成長 年率 14.0% (3年間 42.0%)

営業利益 44.9%増 (3年間)

【戦 略】

日本市場

主要商品の販売拡大

ユーザー数の拡大

自動車業界、OA・通信業界、電気電子業界を重点的に開拓する。

海外進出企業に対して内外一体となって営業展開する。

海外メーカーとの取組み強化

台湾製産業機械の取扱を増大する。

ソノルカエンジニアリング(株)は大手自動車ユーザーに的を絞り、

2006年11月期売上高23億円達成のユーザー基盤構築の完全実現を図る。

首都圏市場を重点的に拡大する。

## アメリカ市場

主力商品の販売をセールス、サービス体制の強化により増加させる。

主力商品の売上を3年間で32%伸ばす。

新主力商品を育成する。

日系企業の開拓。

## アジア市場

東南アジアはタイ、インドネシアのビッグマーケットの営業を本社からの支援体制を強化してユーザーの拡大を図る。

中国の営業強化により、2006年11月期中国市場売上高25億円を達成する。

## 2) 建設機械部門

【数値目標】～ 連結ベース

売上高成長 年率6.6% (3年間19.9%)

営業利益 40.4%増 (3年間)

【戦略】

中古建機輸出の拡大

2006年11月期に輸出高10億円を達成する。

レンタル部門の強化

マルカレンタルサービス(株)、ジャパンレンタルサービス(株)の利益を拡大し、

2006年11月期両社合計の営業利益1.5億円を達成する。

主力メーカー・コベルコ製品をメインとし、その他の有力商品をサブとする販売体制を構築する。

アメリカ市場においてコベルコ製品の販売に取り組む。

以上

### 《当資料取扱上のご注意》

当資料に記載されている当社及び当社グループの計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の実績等に関する見通しです。これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営陣の判断に基づくものであり、経営環境の変動等のリスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、これら見通しと大きく異なる結果となることをご承知おき下さい。